

# 2017年3月期 第2四半期 決算説明資料

---

2016年11月21日

文化シヤッター株式会社

# 目 次

## P1 2017年3月期 第2四半期の実績について

- P2 事業環境
- P3 業績
- P4 売上高および営業利益の増減要因
- P5 セグメント別売上高および営業利益
- P6 売上高の用途別セグメント別分析

## P7 2017年3月期の見通しについて

- P8 事業環境予想
- P9 業績見通し
- P10 売上高および営業利益の増減要因
- P11 セグメント別状況

## P12 中期経営計画・重点施策の進捗状況について

- P13 基幹事業の拡大① シャッター事業の強化
- P14 基幹事業の拡大② ドア・パーティション事業の強化
- P15 注力事業の強化① エコ&防災事業の強化
- P16 注力事業の強化② メンテナンス事業の強化
- P17 注力事業の強化③ ロングライフ事業の強化
- P18 注力事業の強化④ 海外事業の強化  
重点施策 施工体制の強化拡充

## P19 トピックス

- P20 トピックス① ワイエスホールディングスの株式取得
- P21 トピックス② 新商品・受賞商品紹介

## P22 参考資料

- P23 文化シャッターグループ概要
- P24 文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開
- P25 連結貸借対照表
- P26 連結キャッシュフロー計算書
- P27 シャッター関連製品の状況（単体）  
（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）
- P28 建材関連製品の状況（単体）  
（ドア、パーティション、エクステリア）
- P29 サービス事業、リフォーム・リニューアル事業の状況

# 2017年3月期 第2四半期の実績について

---

	2015年3月期上期		2016年3月期上期		2017年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	44.1	88.4%	47.1	106.9%	<b>50.0</b>	106.0%

非住宅着工床面積 (万㎡)	2015年3月期上期		2016年3月期上期		2017年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
工場・倉庫 (万㎡)	773	98.0%	885	114.4%	<b>886</b>	100.2%
医療・福祉 (万㎡)	500	96.1%	325	65.1%	<b>348</b>	107.1%
店舗 (万㎡)	350	75.8%	348	99.5%	<b>327</b>	94.0%
事務所 (万㎡)	326	98.0%	358	109.7%	<b>337</b>	94.3%

◆ 経済環境は、政府による経済政策を背景に、雇用・所得環境は緩やかな回復基調が続いた。

その一方で、中国経済の停滞や、英国の欧州連合離脱決定に端を発した欧州経済の混乱など、世界経済の減速懸念により円高や株安が進行し、景気の先行きに対する不透明感が高まる状況で推移した。

◆ 建築市場について、当グループの先行指標である新設住宅着工戸数は、前年同期比6.0%増の50万戸で推移した。

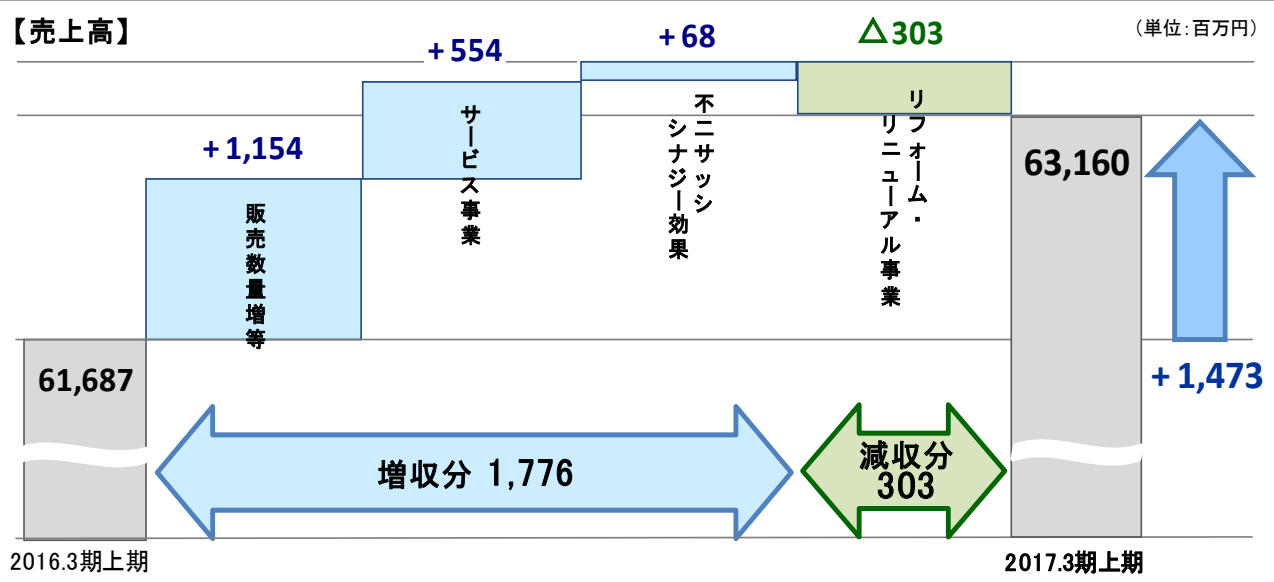
非住宅着工床面積（建築確認申請時点）は、店舗及び事務所向けが減少したものの、工場・倉庫および医療・福祉向けが増加したことで、前年同期比0.5%増の2,679万㎡と、3年ぶりに前年を上回った。

(単位:百万円)

	2016年3月期上期		2017年3月期上期				
	実績	売上比	期初予想	実績	売上比	前期比	予想比
売上高	61,687	100.0%	<b>65,000</b>	<b>63,160</b>	100.0%	102.4%	97.2%
売上原価	44,004	71.3%	<b>46,400</b>	<b>45,798</b>	72.5%	104.1%	-
売上総利益	17,682	28.7%	<b>18,600</b>	<b>17,362</b>	27.5%	98.2%	-
販売費及び一般管理費	14,498	23.5%	<b>15,350</b>	<b>14,971</b>	23.7%	103.3%	-
営業利益	3,183	5.2%	<b>3,250</b>	<b>2,390</b>	3.8%	75.1%	73.6%
経常利益	3,316	5.4%	<b>3,250</b>	<b>2,486</b>	3.9%	75.0%	76.5%
当期純利益	1,697	2.8%	<b>1,900</b>	<b>1,339</b>	2.1%	78.9%	70.5%
1株当たり配当金	10円		<b>10円</b>	<b>10円</b>	-	-	-
設備投資額	2,416		-	<b>2,973</b>	123.1%	-	-
減価償却費	1,174		-	<b>1,363</b>	116.1%	-	-
期末 従業員 (人)	正社員	3,781	-	<b>3,940</b>	+159	-	-
	臨時雇用者	964	-	<b>1,007</b>	+43	-	-
	合計	4,745	-	<b>4,947</b>	+202	-	-

- ◆ 「売上高」は、6期連続の増収、3期連続の過去最高売上。
- ◆ 人件費と減価償却費の増加に伴う売上原価率のアップと、販売費及び一般管理費の増加により、「営業利益」「経常利益」「当期純利益」は減益。
- ◆ 「設備投資額」29億円の主な内訳
  - ・設備の合理化及び更新で約11億円
  - ・子会社の物流倉庫建設他で約8億円
  - ・新販売管理システムの開発費で約5億円
  - ・ライフインセンター建設で約3億円
- ◆ 「1株当たり配当金」は、10円。

# 売上高および営業利益の増減要因

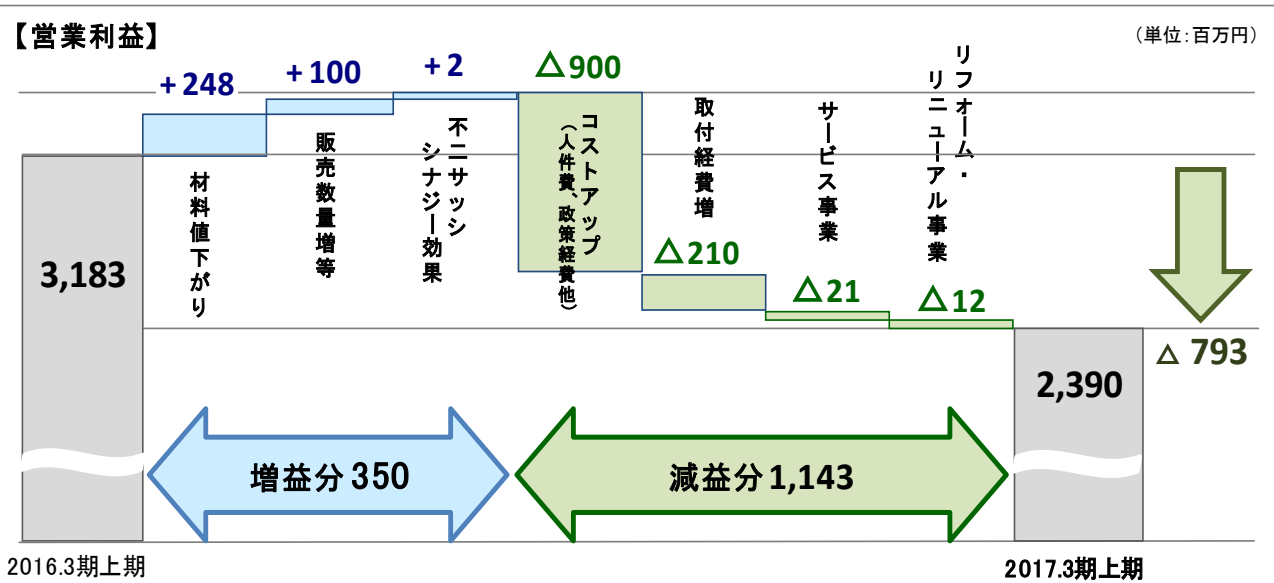


## ◆「売上高」の増減要因

増収要因は、「販売数量の増加」、「サービス事業」、「不ニサッシとのシナジー効果」が寄与。

減収要因は、「リフォーム・リニューアル事業」の売上減が影響。

トータルで14億7,300万円の「増収」。



## ◆「営業利益」の増減要因

増益要因は、「材料価格の値下がり」、「販売数量の増加」などが寄与。

減益要因は、従業員の処遇改善に伴う人件費の増加、次期情報システムの導入など政策経費を含めた「コストアップ」、「取付経費の増加」が影響。

トータルで7億9,300万円の「減益」。

# セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2016年3月期上期		2017年3月期上期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	23,011 (23,000)	3,244 (3,250)	<b>23,428</b> (23,800)	<b>2,920</b> (3,180)
伸率	104.8%	105.9%	101.8%	90.0%
増減	1,057	182	416	△ 324
建材関連製品事業	25,827 (27,700)	736 (640)	<b>26,809</b> (27,200)	<b>649</b> (800)
伸率	118.3%	102.2%	103.8%	88.2%
増減	3,993	16	982	△ 86
サービス事業	7,426 (7,600)	595 (650)	<b>7,980</b> (7,900)	<b>574</b> (610)
伸率	104.0%	101.6%	107.5%	96.4%
増減	282	9	553	△ 21
リフォーム事業	3,767 (4,700)	△ 122 (70)	<b>3,464</b> (4,500)	<b>△ 134</b> (30)
伸率	86.1%	-	92.0%	-
増減	△ 609	△ 130	△ 302	△ 12
その他事業	1,654 (2,000)	104 (140)	<b>1,477</b> (1,600)	<b>94</b> (100)
伸率	90.6%	83.0%	89.3%	90.1%
増減	△ 170	△ 21	△ 177	△ 10
配賦不能額	-	1,376 (1,350)	-	1,713 (1,470)
合計	61,687 (65,000)	3,183 (3,400)	<b>63,160</b> (65,000)	<b>2,390</b> (3,250)
伸率	108.0%	99.4%	102.4%	75.1%
増減	4,553	△ 20	1,473	△ 793

( )は期初予想数字

- ◆「シャッター関連製品事業」は、オフィスビルや商業施設、物流倉庫向けの重量シャッターと、軽量シャッターが好調に推移した一方で、重量シャッターの取付経費が増加したことなどにより、「増収減益」。
- ◆「建材関連製品事業」は、主に商業施設向けのドアが堅調に推移した一方で、ドアの取付経費の増加と販売価格の引き下げなどが影響し、「増収減益」。
- ◆「サービス事業」は、熊本地震など災害対応による修理売上が増加した一方で、要員の増加などが影響し、「増収減益」。
- ◆「リフォーム事業」は、受注件数の減少により、「減収減益」。
- ◆「その他事業」は、太陽光発電システム事業が低調に推移したことなどにより、「減収減益」。

# 売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

製品・事業群		用途	合計	工場・倉庫	医療福祉・学校	オフィスビル・公共施設	商業施設	住宅その他
増収額			14.7	1.5	3.5	6.3	6.6	△ 3.2
売上高			631.6	149.9	79.5	78.8	53.7	269.7
シャッター関連製品事業計	増収額		4.2	△ 0.3	0.5	4.6	0.8	△ 1.4
	売上高		234.3	91.2	10.0	19.4	21.9	91.8
軽量シャッター群	増収額		3.1	1.7	0.2	0.4	0.1	0.7
	売上高		78.3	29.8	1.2	3.9	5.7	37.7
重量シャッター群	増収額		4.4	△ 1.4	0.4	3.5	1.3	0.6
	売上高		100.8	53.3	4.9	11.3	11.9	19.4
窓シャッター群	増収額		△ 3.3	-	-	-	-	△ 3.3
	売上高		28.5	-	-	-	-	28.5
シャッター関連群	増収額		0.0	△ 0.6	△ 0.1	0.7	△ 0.6	0.6
	売上高		26.7	8.1	3.9	4.2	4.3	6.2
建材関連製品事業計	増収額		9.8	1.5	2.1	0.6	5.5	0.1
	売上高		268.1	28.7	64.0	42.7	18.8	113.9
エクステリア群	増収額		2.5	-	-	-	-	2.5
	売上高		36.1	-	-	-	-	36.1
ドア・パーティション群	増収額		10.2	1.5	2.1	0.6	5.5	0.5
	売上高		194.9	28.7	64.0	42.7	18.8	40.7
その他建材製品群	増収額		△ 2.9	-	-	-	-	△ 2.9
	売上高		37.1	-	-	-	-	37.1
サービス事業計	増収額		5.5	0.5	1.0	2.0	0.2	1.8
	売上高		79.8	27.3	4.4	15.2	11.7	21.2
リフォーム事業計	増収額		△ 3.0	-	-	-	-	△ 3.0
	売上高		34.6	-	-	-	-	34.6
その他事業計	増収額		△ 1.8	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.9	0.1	△ 0.7
	売上高		14.8	2.7	1.1	1.5	1.3	8.2

- ◆ 増収額14億7,000万円を用途別で見ると、「商業施設」「オフィスビル・公共施設」向けの売上が牽引。
- ◆ 「工場・倉庫」向けは、工場向けの重量シャッターが減少した一方で、物流倉庫向けに重量シャッターとドアが堅調に推移し、1億5,000万円の「増収」。
- ◆ 「医療福祉・学校」向けは、主に学校向けのドアが堅調に推移し、3億5,000万円の「増収」。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、都市圏を中心とした再開発ビル向けの重量シャッターが好調に推移し、6億3,000万円の「増収」。
- ◆ 「商業施設」向けは、ドアと重量シャッターが好調に推移し、6億6,000万円の「増収」。
- ◆ 「住宅その他」向けは、窓シャッターとリフォーム事業が苦戦し、3億2,000万円の「減収」。



# 2017年3月期の見通しについて

---

【事業環境】	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	88.0	89.2%	92.0	104.6%	<b>94.1</b>	102.3%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,261	93.8%	5,016	95.4%	<b>5,167</b>	103.0%
工場・倉庫 (万㎡)	1,591	98.0%	1,695	106.5%	<b>1,733</b>	102.2%
医療・福祉 (万㎡)	915	96.1%	692	75.7%	<b>741</b>	107.1%
店舗 (万㎡)	714	75.8%	605	84.7%	<b>624</b>	103.1%
事務所 (万㎡)	618	98.0%	630	101.9%	<b>575</b>	91.3%

新設住宅着工床面積は、シンクタンク予測平均から試算

非住宅着工床面積は、建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期上期
住宅向け	31.8%	33.4%	34.9%
非住宅向け	68.2%	66.6%	65.1%

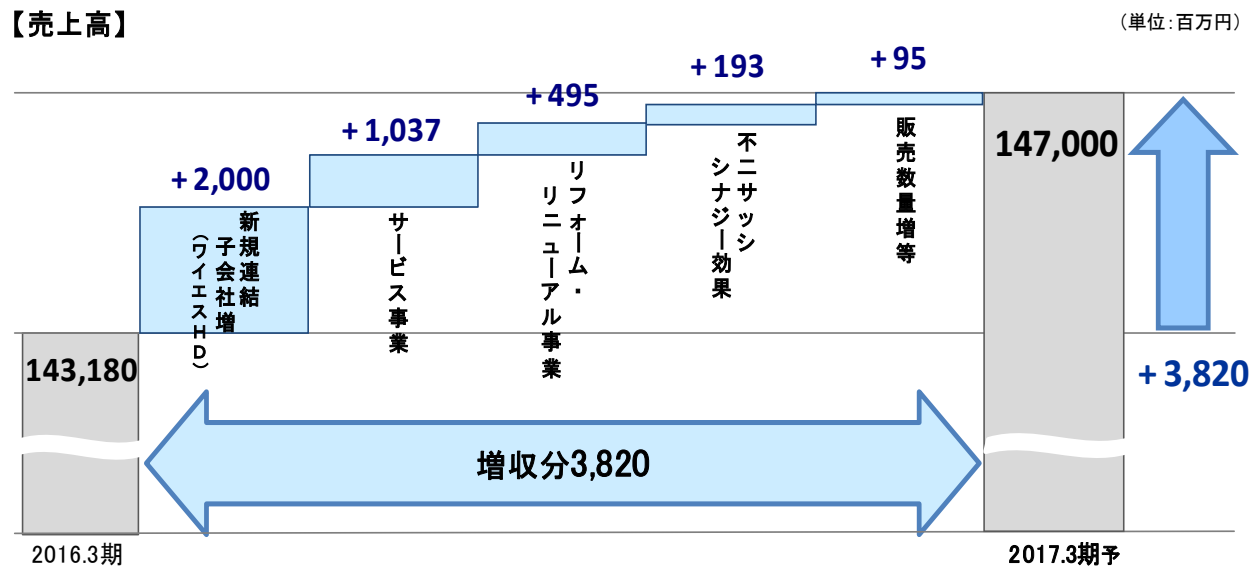
- ◆ 経済環境は、個人消費や企業の景況感などに弱い動きが見られるが、政府が打ち出した経済対策による需要喚起が進むことが予想されることから、景気は緩やかに回復する見通し。
- ◆ 建築市場について、新設住宅着工戸数は相続税の節税対策やマイナス金利政策による金利の低下などにより、前期比2.3%増の94万1,000戸を予想。  
非住宅着工床面積は、企業収益の改善等を背景に、設備投資は底堅く推移する見込みから、前期比3.0%増の5,167万㎡を予想。

(単位:百万円)

	2016年3月期				2017年3月期								
	上期実績	下期実績	通期実績	売上比	上期実績	下期予想	前年同期比	通期予想					
								期初予想	11月予想	売上比	伸率	増減	
売上高	61,687	81,493	143,180	100.0%	63,160	83,840	102.9%	151,000	147,000	100.0%	102.7%	3,820	
売上原価	44,004	59,819	103,823	72.5%	45,798	61,702	103.1%	109,300	107,500	73.1%	103.5%	3,677	
売上総利益	17,682	21,674	39,356	27.5%	17,362	22,138	102.1%	41,700	39,500	26.9%	100.4%	144	
販売費及び一般管理費	14,498	14,771	29,269	20.4%	14,971	15,529	105.1%	31,500	30,500	20.8%	104.2%	1,231	
営業利益	3,183	6,904	10,087	7.1%	2,390	6,610	95.7%	10,200	9,000	6.1%	89.2%	△ 1,087	
経常利益	3,316	7,208	10,524	7.4%	2,486	7,014	97.3%	10,700	9,500	6.5%	90.3%	△ 1,024	
当期純利益	1,697	4,652	6,349	4.4%	1,339	5,061	108.8%	7,300	6,400	4.4%	100.8%	51	
1株当たり配当金	10円	10円	20円		10円	10円		20円	20円			-	
設備投資額	2,416	3,059	5,475		2,973	-		3,500	3,500			△ 1,975	
減価償却費	1,174	1,331	2,505		1,363	-		3,200	3,000			495	
期末従業員 (人)	正社員	3,781	-	3,805	3,940	-		3,950	4,050			245	
	臨時雇用者	964	-	945	1,007	-		950	1,010			65	
	合計	4,745	-	4,750	4,947	-		4,900	5,060			310	

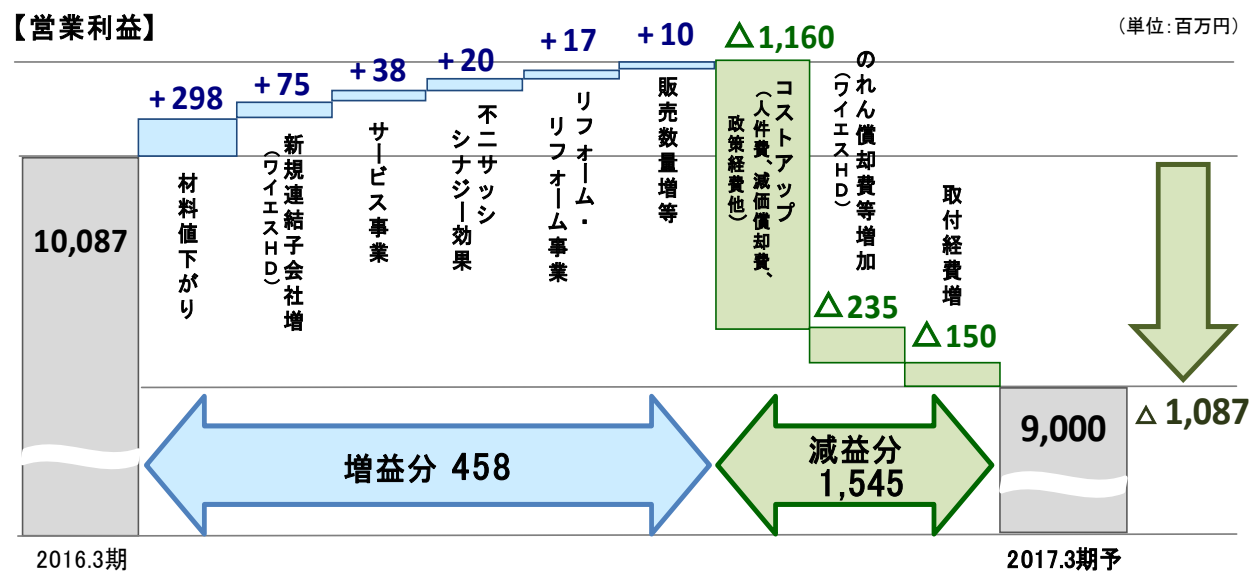
- ◆ 首都圏を中心とした大型現場の着工遅れと市場の競争激化を背景に、売上高は期初予想に対して40億円減の1,470億円、営業利益は同様に12億円減の90億円に通期予想を修正。新たな目標の必達に向けBXグループ一丸となって取り組む。
- ◆ 「設備投資額」は、設備の合理化および更新とシステム関連費用をあわせた約23億円、ライフインセンター建設約8億円など、35億円を計画。

# 売上高および営業利益の増減要因



## ◆「売上高」の増減要因

新規連結の子会社「ワイエスホールディングスの増加分」、「サービス事業」と「リフォーム・リニューアル事業」、「不ニサッシとのシナジー効果」などにより、38億2,000万円の「増収」を見込む。



## ◆「営業利益」の増減要因

増益要因は、「材料価格の値下がり」「ワイエスホールディングスの増加分」など。

減益要因は、人件費の増加、次期情報システムの導入など政策経費を含めた「コストアップ」、ワイエスホールディングスの「のれん償却費等の増加」。

トータルで10億8,700万円の「減益」を見込む。

# セグメント別状況

(単位:百万円)

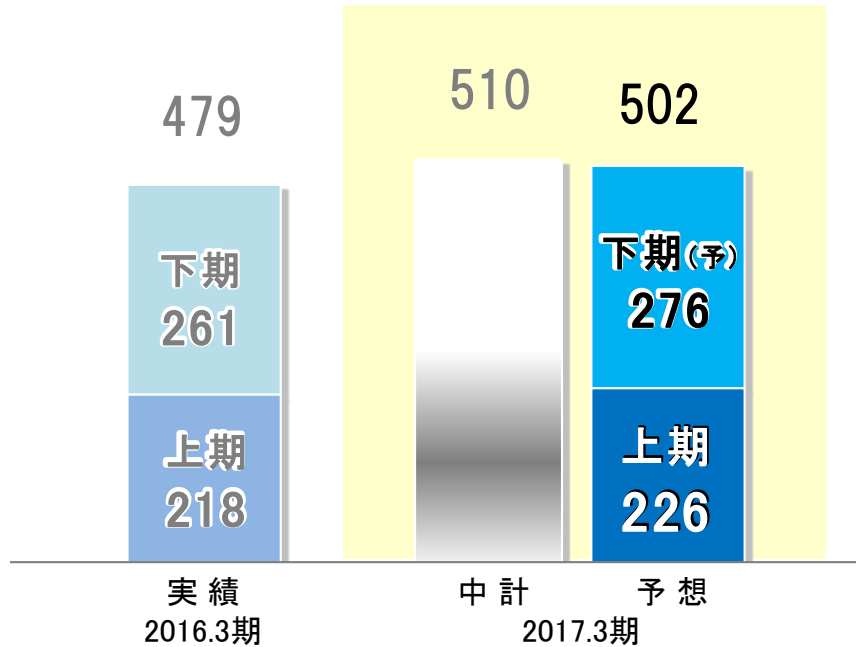
【売上高】	2016年3月期						2017年3月期						
	上期実績			通期実績			上期実績			通期予想			
	伸率	増減		伸率	増減		伸率	増減		期初予想	11月予想	伸率	増減
シャッター関連事業	23,011	104.8%	1,057	50,788	105.7%	2,728	23,428	101.8%	416	53,500	52,600	103.6%	1,812
建材関連事業	25,827	118.3%	3,993	64,658	122.0%	11,644	26,809	103.8%	982	67,800	65,300	101.0%	642
サービス事業	7,426	104.0%	282	16,463	106.2%	961	7,980	107.5%	553	17,500	17,500	106.3%	1,037
リフォーム事業	3,767	86.1%	△ 609	7,705	91.5%	△ 712	3,464	92.0%	△ 302	8,800	8,200	106.4%	495
その他事業	1,654	90.6%	△ 170	3,563	97.4%	△ 93	1,477	89.3%	△ 177	3,400	3,400	95.4%	△ 163
合計	61,687	108.0%	4,553	143,180	111.3%	14,530	63,160	102.4%	1,473	151,000	147,000	102.7%	3,820
<b>【営業利益】</b>													
シャッター関連事業	3,244	105.9%	182	7,542	111.7%	790	2,920	90.0%	△ 324	7,650	7,550	100.1%	8
建材関連事業	736	102.2%	16	3,401	109.1%	282	649	88.2%	△ 86	3,500	2,830	83.2%	△ 571
サービス事業	595	101.6%	9	1,862	108.5%	145	574	96.4%	△ 21	1,900	1,900	102.0%	38
リフォーム事業	△ 122	-	△ 130	△ 117	-	△ 171	△ 134	-	△ 12	130	△ 100	-	17
その他事業	104	83.0%	△ 21	238	91.3%	△ 22	94	90.1%	△ 10	220	220	92.3%	△ 18
配賦不能額	1,376	105.8%	76	2,840	107.2%	191	1,713	124.5%	337	3,200	3,400	119.7%	560
合計	3,183	99.4%	△ 20	10,087	109.0%	834	2,390	75.1%	△ 793	10,200	9,000	89.2%	△ 1,087
<b>【受注残高】</b>													
シャッター関連事業	18,501	110.2%	1,705	16,971	107.0%	1,111	20,858	112.7%	2,357	18,650	18,750	110.5%	1,779
建材関連事業	39,403	114.5%	4,979	30,130	101.9%	554	37,998	96.4%	△ 1,404	35,000	35,000	116.2%	4,870
サービス事業	1,742	110.8%	170	1,646	116.3%	231	2,130	122.2%	387	1,700	1,800	109.4%	154
リフォーム事業	1,297	125.0%	260	1,195	172.5%	502	1,581	121.9%	283	1,100	1,300	108.8%	105
その他事業	632	74.1%	△ 222	421	61.6%	△ 262	903	142.7%	270	350	650	154.4%	229
合計	61,577	112.6%	6,892	50,365	104.4%	2,136	63,471	103.1%	1,894	56,800	57,500	114.2%	7,135
<b>【受注高】</b>													
シャッター関連事業	25,652	98.4%	△ 414	51,900	101.3%	663	27,315	106.5%	1,662	55,178	54,379	104.8%	2,479
建材関連事業	35,654	120.4%	6,050	65,212	116.6%	9,276	34,678	97.3%	△ 975	72,669	70,170	107.6%	4,958
サービス事業	7,754	105.7%	419	16,695	107.5%	1,159	8,464	109.2%	710	17,553	17,653	105.7%	958
リフォーム事業	4,371	102.8%	120	8,208	103.3%	260	3,850	88.1%	△ 520	8,704	8,305	101.2%	97
その他事業	1,602	89.9%	△ 180	3,300	95.8%	△ 144	1,958	122.2%	356	3,328	3,628	109.9%	328
合計	75,035	108.7%	5,996	145,316	108.4%	11,216	76,267	101.6%	1,232	157,434	154,135	106.1%	8,819

# 中期経営計画・重点施策の進捗状況について

---

「シャッター事業」売上高(億円)

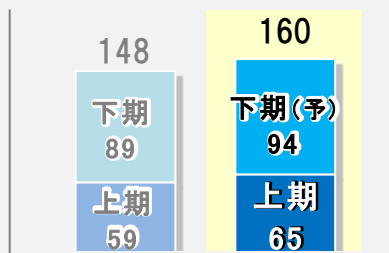
※海外売上分他を除く



## ◆シャッター事業

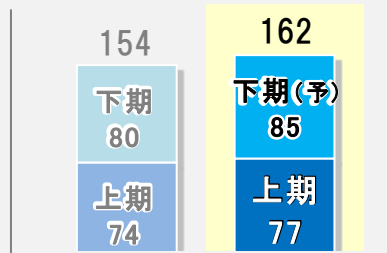
- ・上期は、オフィスビル、商業施設、物流倉庫など非住宅市場における重量シャッターと軽量シャッターの受注が拡大し、売上高は前年同期比8億円増の226億円。
- ・通期は、計画を若干下回る予想ではあるものの、9月末の受注残高が前年対比で約24億円増加していることを前提に、売上高は前期比4.8%増の502億円を見込む。
- ・今後の大型物件の受注拡大に対応するため、基幹工場である小山工場の重量シャッターのスラット生産ラインに、今年9月、自動溶接ロボットを導入。生産性向上と安定した供給体制を図る。

「重量シャッター」売上高(億円)



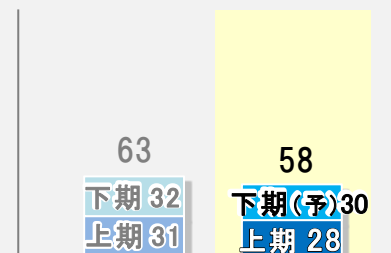
16.3期 実績 17.3期 予想

「軽量シャッター」売上高(億円)



16.3期 実績 17.3期 予想

「窓シャッター」売上高(億円)

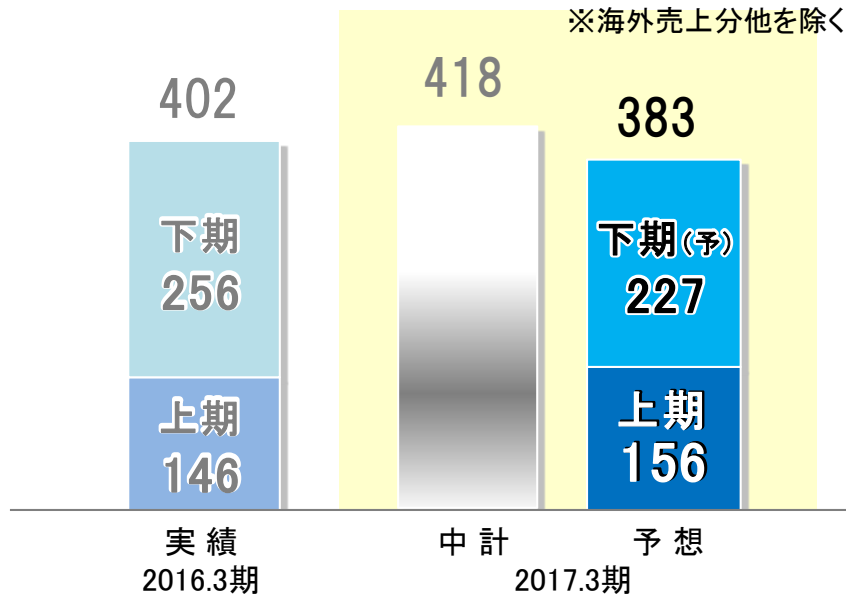


16.3期 実績 17.3期 予想



小山工場に導入した自動溶接ロボット

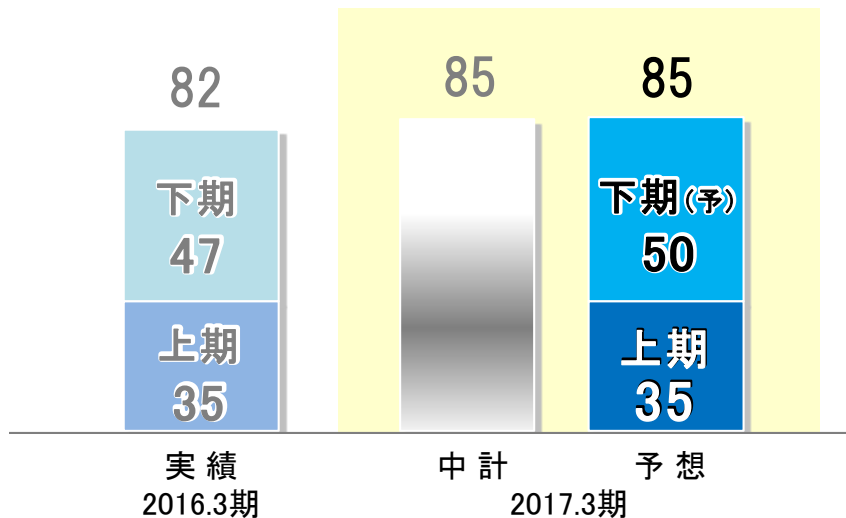
「ドア群」売上高(億円)  
※海外売上分他を除く



## ◆ドア事業

- ・上期は、主に商業施設及び公共施設向けの受注が拡大し、売上高は前年同期比約10億円増の156億円。
- ・通期は、競争が激化する中、9月末の受注残高が前年対比で約17億円減少していることから、売上高は前期比4.7%減の383億円を見込む。
- ・今後は、首都圏を中心とした五輪関連施設や再開発ビルなど大型物件の受注拡大に向け、グループ全体でドアの生産・物流体制の整備を継続して進めていく。

「パーティション群」売上高(億円)

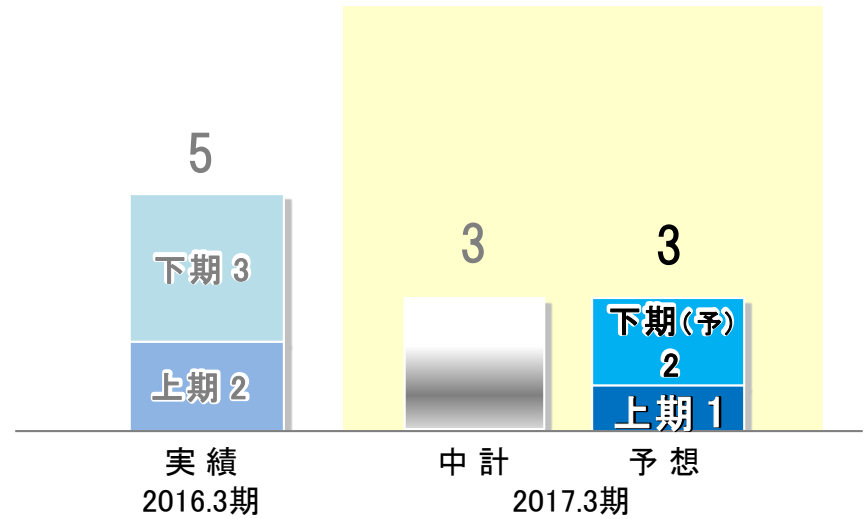


## ◆パーティション事業

- ・上期は、オフィスビルや学校向けが苦戦したものの、売上高は前年と横ばいの35億円。
- ・通期は、新設したパーティション部の営業支援によりさらなる受注拡大を図ることで、売上高は前期比2.4%増の85億円を見込む。



「エコ事業」売上高(億円)



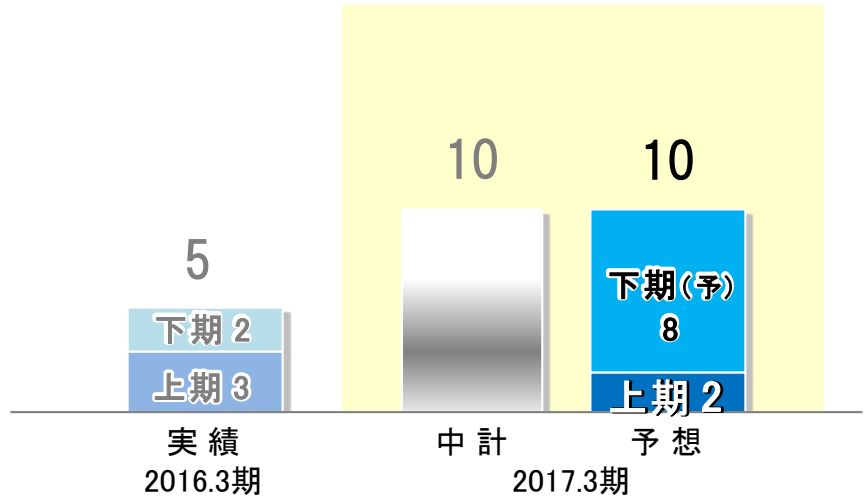
◆エコ事業

- ・当事業の柱である「太陽光発電システム事業」について、上期の売上高は前年同期比1億円減の1億円。
- ・通期は、売上高3億円の達成を見込む。

◆防災事業

- ・当事業の柱である「止水事業」について、上期の売上高は前年同期比1億円減の2億円。
- ・通期は、上期に発売した新商品を含め、お客様のご要望にきめ細かく対応した提案活動を推し進めることで、売上高10億円を見込む。

「防災事業」売上高(億円)

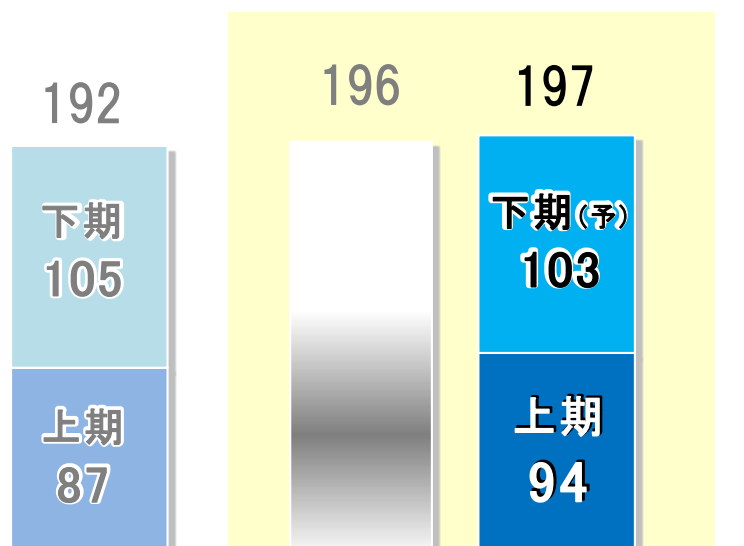


止水ドア アクアード  
「両開きスチールタイプ」



止水ドア アクアード  
「片開きステンレスタイプ」

「メンテナンス事業」売上高(億円)



実績  
2016.3期

中計 2017.3期予想

## ◆メンテナンス事業

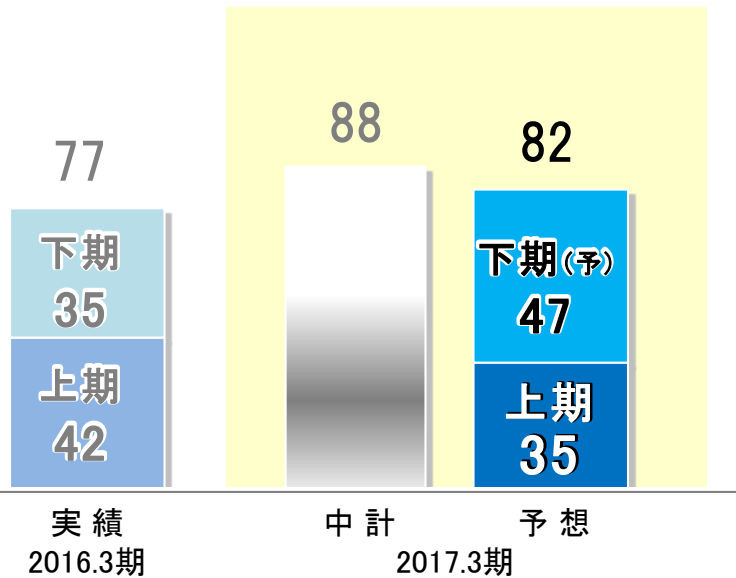
- ・上期の売上高は、前年同期比7億円増の94億円。
- ・通期は、点検法制化に伴う顧客拡大を進めることで修理・リニューアル工事の受注拡大を図り、売上高は前期比2.6%増の197億円を見込む。

＜防火設備の点検法制化対応(2016年6月施行)＞

大型商業施設を中心に、点検の見積・契約件数が拡大中。引き続き、作業員の確保に注力していく。



「ロングライフ事業」売上高(億円)



## ◆ロングライフ事業

- ・ビルリニューアル事業は、当社初となるマンションの耐震補強工事が完了。
- ・住宅リフォーム事業は、受注件数が減少。
- ・結果、ロングライフ事業の上期の売上高は、前年同期比7億円減の35億円。通期は、前期比6.5%増の82億円を見込む。

### <ビルリニューアル事業>

- ・ビルの耐震改修やマンションの大規模修繕を中心に、受注拡大を図る。

### <住宅リフォーム事業>

- ・刷新したWEBや折り込みチラシの積極活用で新規顧客の獲得に注力し、受注拡大を図る。

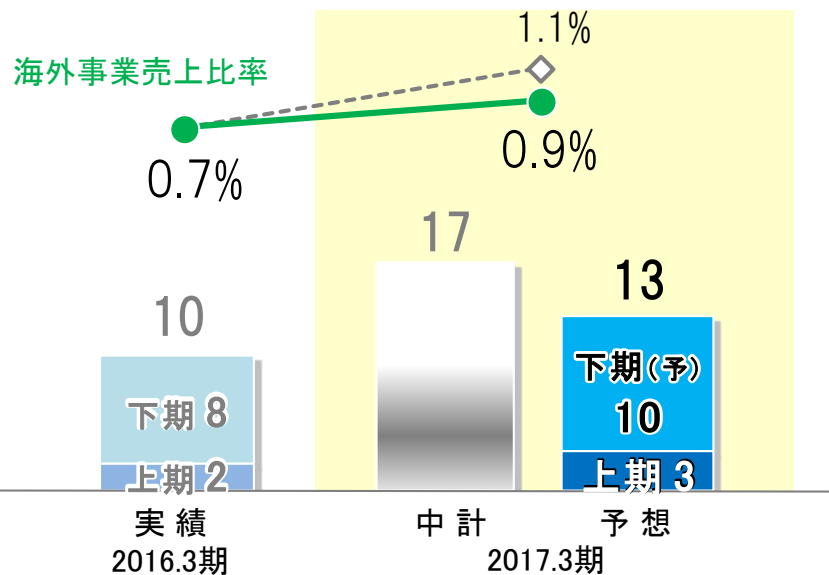


マンション耐震補強工事の施工事例



刷新したBXゆとりリフォームのWEB画面

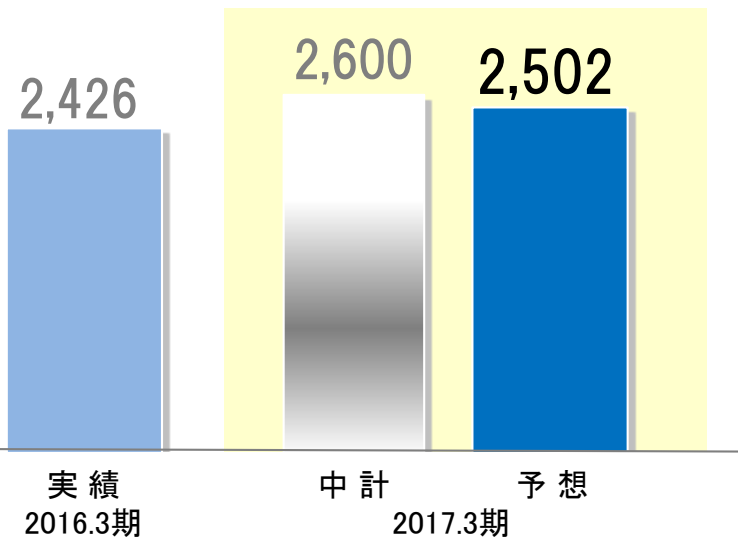
「海外事業」売上高(億円)



## ◆海外事業

- ・上期の売上高は3億円。
- ・通期は、東南アジア諸国の物件を中心に不二サッシ及びEurowindow社との協業を加速させる。  
その結果、売上高は計画未達も、前期比30.0%増の13億円を見込む。

「工事員数」(人)



## ◆施工体制の強化拡充

- ・9月末現在の工事員数は2,502名と、上期で76名増員。  
受注拡大に向け、引き続き工事員増員に注力していく。



施工技術者募集WEB画面

# トピックス

---

- ・10月31日付けで(株)ワイエスホールディングスの株式を取得し、(株)カネシン、東昭エンジニアリング(株)を含めた3社をBXグループの連結対象とした。
- ・新たに3社がBXグループに加わることで、建材分野の事業領域拡大と収益モデルの多様化を図り、住宅市場への対応強化を進める。

## ◆会社概要

### 株式会社 ワイエスホールディングス



(株)カネシン、東昭エンジニアリング(株)の全株式を保有する。  
売上高 114百万円(2016年3月期)

### 株式会社 カネシン



木造住宅向け建築金物の製造販売  
売上高 8,084百万円(2016年3月期)



### 東昭エンジニアリング株式会社



木造住宅の構造計算  
売上高 201百万円(2016年3月期)

## ◆新商品



新型高速シートシャッター大間迅  
「ビード」「マジック」



止水ドア アクアード  
「両開きスチールタイプ」



止水ドア アクアード  
「片開きステンレスタイプ」



「マドマスター・スマートタイプ」  
“HEMS連携が3社に拡大”

## ◆受賞商品



GOOD DESIGN  
AWARD 2016

2016年度グッドデザイン賞  
BX止水板「ラクセット」



第10回キッズデザイン賞  
電動窓シャッター用  
「ワイヤレスタイマースイッチ」



## 参考資料

---



- 経営理念 「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」  
「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」  
「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び子会社19社
- 事 業 シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、  
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 302営業拠点 127サービス拠点 24工場
- 従業員数 3,940名(2016年9月末現在)

## 【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 潮崎 敏彦  
設 立 1955年(昭和30年)4月18日  
資本金 15,051百万円  
本 社 東京都文京区西片1-17-3

## 文化シャッター株式会社

### シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

**BX新生精機 (株)**

「オーニング」製造・販売

**BXテンパール (株)**

「シャッター」製造・販売

**BX沖縄文化シャッター(株)**

「シャッター」販売

文化シャッター秋田販売(株)  
文化シャッター高岡販売(株)  
(※3)

- ※1 非連結子会社で持分法非適用会社
- ※2 関連会社で持分法適用会社
- ※3 関連会社で持分法非適用会社

### 建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

**BX文化パネル (株)**  
**BX中央工業(株)**(※1)

「ドア」製造

**BXケンセイ (株)**  
**BX鐵矢 (株)**  
**BX東北鐵矢 (株)**  
**BX朝日建材 (株)**

「建築金物」製造・販売

**(株)カネシン**

「ドア」「スライディングウォール」製造・販売

**BXティアール (株)**

「ステンレス建材」製造・販売

**BX紅雲 (株)**

「建築材料」製造・販売

**BX西山鉄網 (株)**

「再生複合材」製造・販売

**(株)エコウッド** (※3)

### サービス事業

**文化シャッターサービス(株)**

### リフォーム事業

**BXゆとりリフォーム (株)**

### その他事業

「注文家具」製造・販売

**BX文化工芸 (株)**

「住生活支援」

**(株)ワイエスホールディングス**

「損害保険代理業」

**BXあいわ (株)**

「建築構造設計」

**東昭エンジニアリング(株)**

### 海外事業展開

「シャッター」「ドア」「オーニング」  
製造、販売

**BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.**

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造、販売

**Eurowindow Joint Stock  
Company** (※2)

(ベトナム)

「各種シャッター製品」販売・メンテナンス

**BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.**  
(※1)

(台湾)

～海外企業との提携～

ベルギー「ダイナコ社」  
1999年より高速シートシャッター  
「エア・キーパー大間迅」発売

### その他

「ビル用サッシ他」製造・販売

**不二サッシ (株)グループ**  
(※2)

# 連結貸借対照表

(単位: 百万円、%)

	2016年3月期		2017年3月期上期		増減	
		構成比		構成比		前期末比
<b>流動資産</b>	<b>81,024</b>	<b>62.3</b>	<b>76,344</b>	<b>59.9</b>	<b>△ 4,680</b>	<b>94.2</b>
現金・預金	22,478	17.3	23,706	18.6	1,228	105.5
受取手形・売掛金	41,814	32.1	31,538	24.7	△ 10,276	75.4
たな卸資産	12,956	10.0	16,158	12.7	3,202	124.7
その他	3,776	2.9	4,942	3.9	1,166	130.9
<b>固定資産</b>	<b>49,073</b>	<b>37.7</b>	<b>51,103</b>	<b>40.1</b>	<b>2,030</b>	<b>104.1</b>
土地	9,633	7.4	9,919	7.8	286	103.0
投資有価証券	13,957	10.7	14,576	11.4	619	104.4
その他の投資・資産	2,190	1.7	2,251	1.8	61	102.8
その他	23,293	17.9	24,357	19.1	1,064	104.6
<b>資産合計</b>	<b>130,098</b>	<b>100.0</b>	<b>127,447</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 2,651</b>	<b>98.0</b>
<b>流動負債</b>	<b>46,266</b>	<b>35.6</b>	<b>42,785</b>	<b>33.6</b>	<b>△ 3,481</b>	<b>92.5</b>
支払手形・買掛金	29,526	22.7	26,589	20.9	△ 2,937	90.1
短期借入金	2,000	1.5	2,000	1.6	0	100.0
その他	14,740	11.3	14,196	11.1	△ 544	96.3
<b>固定負債</b>	<b>23,110</b>	<b>17.8</b>	<b>22,857</b>	<b>17.9</b>	<b>△ 253</b>	<b>98.9</b>
長期借入金	3,000	2.3	2,500	2.0	△ 500	83.3
退職給付に係る負債	18,238	14.0	18,493	14.5	255	101.4
その他	1,872	1.4	1,864	1.5	△ 8	99.6
<b>負債合計</b>	<b>69,376</b>	<b>53.3</b>	<b>65,642</b>	<b>51.5</b>	<b>△ 3,734</b>	<b>94.6</b>
<b>純資産合計</b>	<b>60,721</b>	<b>46.7</b>	<b>61,804</b>	<b>48.5</b>	<b>1,083</b>	<b>101.8</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>130,098</b>	<b>100.0</b>	<b>127,447</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 2,651</b>	<b>98.0</b>

1株当たり株主資本

846円95銭

862円06銭

期末株価

925円

800円

PBR(株価純資産倍率)

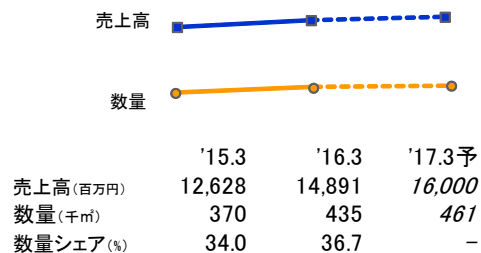
1.09

0.93

(単位:百万円)

	2016年3月期上期	2017年3月期上期	増減
<b>1. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,921</b>	<b>5,357</b>	<b>436</b>
税金等調整前当期純利益	3,235	2,464	△ 771
減価償却費	1,171	1,361	190
売上債権の増減額(△は増加)	9,271	10,253	982
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 1,368	△ 2,920	△ 1,552
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 4,498	△ 3,252	1,246
法人税等の支払額	△ 1,912	△ 2,157	△ 245
その他	△ 978	△ 392	586
<b>2. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 6,877</b>	<b>△ 2,355</b>	<b>4,522</b>
投資有価証券の取得による支出	△ 165	△ 93	72
有形固定資産の売却による収入	5	8	3
有形固定資産の取得による支出	△ 1,627	△ 1,955	△ 328
無形固定資産の取得による支出	△ 353	△ 655	△ 302
その他	△ 4,737	340	5,077
<b>3. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,256</b>	<b>△ 1,454</b>	<b>△ 198</b>
長期借入金の返済による支出	△ 400	△ 500	△ 100
配当金の支払額	△ 645	△ 717	△ 72
その他	△ 211	△ 237	△ 26
<b>4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△ 3,216</b>	<b>1,555</b>	<b>4,771</b>
<b>5. 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>23,582</b>	<b>20,522</b>	<b>△ 3,060</b>
<b>6. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>20,366</b>	<b>22,077</b>	<b>1,711</b>

## <重量シャッター>

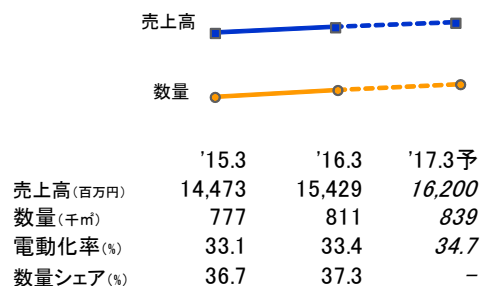


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比9.9%増。シェアは40.7%と6.8ポイントアップ。
- ◆ 通期は、9月末の受注残高が9.0%増加していることを前提に、売上高は前期比7.4%増の160億円を計画。

## <軽量シャッター>

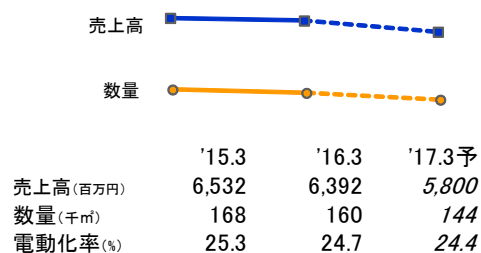


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比4.0%増。シェアは38.1%と1.2ポイントアップ。
- ◆ 通期は、9月末の受注残高が10.9%増加していることを前提に、売上高は前期比5.0%増の162億円を計画。

## <窓シャッター>



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比10.4%減。
- ◆ 通期の売上高は、前期比9.3%減の58億円を計画。

## <ドア>



'15.3 '16.3 '17.3予  
売上高(百万円) 34,445 37,444 36,500



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比8.8%増。
- ◆ 通期の売上高は、前期比2.5%減の365億円を計画。

## <パーティション>



'15.3 '16.3 '17.3予  
売上高(百万円) 8,165 8,243 8,500



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比1.1%減。
- ◆ 通期は、9月末の受注残高が4.9%増加していることを前提に、売上高は前期比3.1%増の85億円を計画。

## <エクステリア>



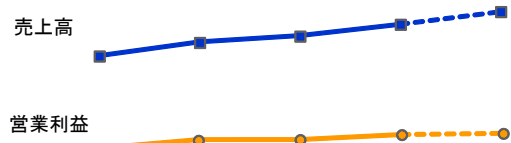
'15.3 '16.3 '17.3予  
売上高(百万円) 7,129 7,192 7,900

※横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比7.5%増。
- ◆ 通期は、9月末の受注残高が23.7%増加していることを前提に、売上高は前期比9.8%増の79億円を計画。

## <サービス事業>



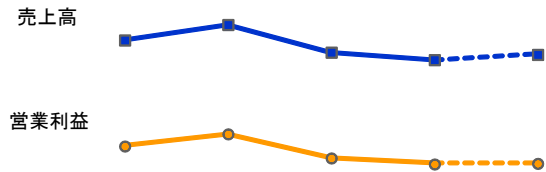
	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3	'17.3予
売上高(百万円) (保守・点検、修理加工)	13,879	14,983	15,502	16,463	17,500
営業利益(百万円)	1,437	1,697	1,717	1,862	1,900
営業利益率(%)	10.4	11.3	11.1	11.3	10.9

- ◆ 上期は、熊本地震など災害対応に伴う修理対応が増加したことで、売上高は前年同期比7.5%増。
- ◆ 通期は、9月末の受注残高が22.2%増加していること、保守点検契約の提案を積極的に推し進めることで、売上高は前期比6.3%増の175億円を計画。



修理・保守点検の様子

## <リフォーム・リニューアル事業>



	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3	'17.3予
売上高(百万円)	9,573	11,042	8,417	7,705	8,200
営業利益(百万円)	395	740	54	△ 117	△ 100
営業利益率(%)	4.1	6.7	0.6	-	-
店舗数 (BX仲とりリフォーム)	21	21	21	24	-

- ◆ 上期は、受注件数の減少により、売上高は前期比8.0%減。
- ◆ 通期の売上高は、下期に完工したマンションの耐震工事やビルのリニューアル工事が寄与し、前期比6.4%増の82億円を計画。



住宅リフォーム向け折り込みチラシ(上)  
マンション耐震補強工事の施工事例(下)

## 問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail [bxinfo@mail.bunka-s.co.jp](mailto:bxinfo@mail.bunka-s.co.jp)

<http://www.bunka-s.co.jp/>